止　血　法

出血(外傷)に関する内容の聴取

通報者が極度に焦燥し，冷静さを失っていること等により対応できない場合は口頭指導を中止する

↓

「救急車はもう出動させています」(落ち着いてください)
「応急手当てをお願いしたいのですができますか?」

↓

「出血は止まっていますか?」

いいえ

感染防止と準備物
「ビニール袋またはゴム手袋とハンカチ又はタオルを用意してください」
※ 清潔なハンカチやタオル
「できるだけ、血液に触れないようにしてください」

↓

はい

「そのままで救急車が到着するまで待っていてください」
※ 意識(反応)がなくなった場合はすぐに知らせるように指示する

↓

直接圧迫止血
「ハンカチ又はタオルを重ねて出血している場所に当てて強く押さえて救急車が到着するまでお願いします」
「意識(反応)がなくなった場合はまた連絡お願いします」

※ ハンカチ又はタオルから血液が染み出してくる場合は、圧迫位置が出血部位から外れている、または、圧迫する力が弱いなどが考えられる
※ 細い紐や針金で出血している手足を縛る方法は、血管や神経を痛める危険性があるので指導しない

↓

意識・出血状態の継続観察